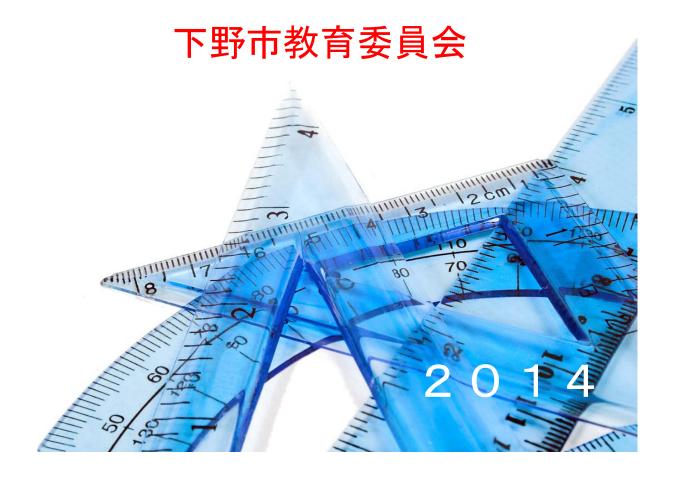


平成26年度

下野市教育委員会点検 · 評価報告書

[平成25年度事業]



目 次

1.	はじめ	いに	-	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	1
	(1)	趣	<u> </u>	i																							
	(2)	点	検討	平征	折 の	対	象																				
	(3)	点	検討	平征	新の	方	法																				
2.	教育委	員	会	議の	り閉	催	状	況	1	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	2
3.	教育委	員	会	議	こま	3け	る	審	議	状	:況		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	3
	審議	狀	沈	一覧	笔		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	4
	(1)	選		j	₹	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	4
	(2)	審	議	事項	Į	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	4
	(3)	報	告事	事項	Į	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	6
	(4)	協	議	打	Į	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	8
	(5)	討	議	事項	Ę	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	8
	(6)	そ	0)	他	<u>h</u>	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	8
4.	教育委	員	会	議」	以夕	トで	·0)	活	動	状	:況		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1	C
5.	施策ご	<u>'</u> ک	(D)	取約	且状	弋沢	ı	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1	5
	(施策	i 1)	次作	弋を	- 担	.う	人	材	·0)	育	成		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1	5
	(施策	i 2)	生》	重に	こわ	た	る	学	:Vi	この	機	会	の	充	実		•	•	•	•	•	•	•		Р	1	6
	(施策	i 3)	豊才	j > (3	_暮	ら	す	文	化	(D)	振	興		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1	7
6.	評価シ	/	٠ ٢	総排	舌表	₹	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1	9
7.	外部評	征	委	員会	$\geq \sigma$)開	催		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1	9
8.	評価シ	/_	- ト	個兒	川表	₹	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	2	C
9.	外部評	猛	委	員会	会委	員		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	3	C
1 0). 外剖	評	価	委員	 €	会に	よ	る	総	合	意	見		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	3	C
関係	資料	1.		下野	市	教育	育多	廷	 €	三	事務	务是	引刹	且絹		<u>र</u>]												
		2.		下野	市	教育	育	廷	夏 夕		点核	全部	平伯		こ月	引す	トス	5 <i>含</i>	€侈	利								

1. はじめに

(1)趣旨

下野市教育委員会では、下野市総合計画後期基本計画(平成24年度~平成27年度)」に基づき、市民と行政との協働を基調とした「心豊かに暮らせる、創造と躍進のまち」を目指し、平成26年3月に「下野市教育計画26・27年度版」を策定しました。

下野市教育計画は、「みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり」を基本目標に、①「次代を担う人材の育成」②「生涯にわたる学びの機会の充実」③「豊かに暮らす文化の振興」を3つの柱として、教育行政の様々な施策や事業を推進する上での、基本的な方向性と具体的な内容を示すものとなっています。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告すると共に市民に公表することとされました。

下野市教育委員会では、基本目標に沿って、具体的な教育行政の執行状況や、 今後のあり方等について教育委員会自ら検証し、また、外部評価委員のご意見 等をいただきながら、平成20年度から点検評価を実施してまいりました。

今回で7回目となるこの報告は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条及び「下野市教育委員会点検評価に関する条例」の規定に基づき、 平成25年度の下野市教育委員会に関わる事務事業について、効果的な教育行政の推進に資するため、点検及び評価を実施した結果を報告書としてまとめました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 【抜粋】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により 教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定に より事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況に ついて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提 出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験 を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検評価の対象

点検評価にあたっては、下野市総合計画後期基本計画に基づく施策のうち 平成25年度に実施した教育委員会所管の主な事業から、教育委員会におい て各課2事業を選択しました。

(3) 点検評価の方法

- (ア)点検評価にあたっては、施策・事業の執行状況を明らかにするととも に、課題等を分析検討したうえで、今後の対応方向を記述しました。
- (イ)点検評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方な ど外部の方々のご意見をお聞きする機会を設けるため、5名を選任し 外部評価委員会を開催いたしました。
- (ウ)教育委員会事業は各課の事業ごとに記載された点検評価シートに基づき点検評価を行い、外部評価委員会より総合評価として A「十分成果が上がって良好に行われている」B「成果が上がって概ね良好に行われている」C「成果が十分に上がっておらず改善が必要」のいずれかの評価と、その評価に基づくコメント及び総合意見もいただきました。

2. 教育委員会議の開催状況

教育委員会議は、下野市教育委員会会議規則第4条第1項に基づき毎月開催の「定例会」と、同規則第4条第2項に基づき、急を要し委員長が認めた「臨時会」を開催しております。平成25年度は合計19回開催しました。開かれた教育委員会を目指し、平成23年度から導入した「出前教育委員会」は、今年で3年目を迎え、教育委員会の審議状況や委員の活動状況等を市民の方に知っていただく重要な機会となっています。

また、委員自らが学校行事や市の行事はもとより、地域活動にも積極的に 貢献することで、見える教育委員会を行動でPRしています。

- (1) 教育委員会定例会・・・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・・・ 7回



緑小学校で開催された 出前教育委員会

3. 教育委員会議における審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項及び「下野市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、平成25年度は合計58件について審議しました。

- ※ 審議案件のほか、報告事項、協議事項、その他についても取り扱いました。

その他・・・・・・・・・・・4件

- (1) 報告事項・・・・56件
- (2) 協議事項・・・・16件
- (3) 討議事項・・・・ 4件
- (4) その他 ・・・・24件

◆下野市教育委員会委員名簿(平成25年度在籍)

職名	氏 名	任 期
委員長	永山 伸一	H22. 3. 25∼H26. 3. 24
委員長職務代理者	川口 桂子	H23. 3. 25∼H27. 3. 24
委員	前原 久	H25. 4. 1∼H29. 3. 31
委員	三橋 明美	H24. 3. 25∼H28. 3. 24
教育長	古口紀夫	H22. 3. 25∼H26. 3. 24

審議状況一覧

(1)選挙 1件

番号	件	名	協議日
1	下野市教育委員会委員長の選挙について		平成26年3月25日

(2)審議事項 58件

番号	件 名	提出日	分類(※)
1	下野市学校適正配置基本計画策定委員会設置要綱の一部改正について	平成25年4月18日	(2)
2	下野市教育委員会点検評価実施に伴う外部評価委員会委員の委嘱について	平成25年4月18日	(6)委
3	下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について	平成25年4月18日	(2)
4	下野市スクールアシスタントの免職について	平成25年5月1日	(6)委
5	下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成25年5月1日	(6)委
6	下野市学校適正配置基本計画骨子(案)について	平成25年5月16日	(6)他
7	下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
8	下野市立小中学校教科用図書選定委員会の諮問について	平成25年5月16日	(6)諮
9	下野市就学支援委員会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
10	下野市就学支援委員会の諮問について	平成25年5月16日	(6)諮
11	下野市立国分寺給食センター運営委員会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
12	下野市社会教育委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
13	下野市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
14	下野市ふれあい学習推進委員会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
15	下野市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
16	下野市文化財保護審議会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
17	下野市スポーツ活動拠点整備検討会委員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
18	下野市少年スポーツ指導員の委嘱について	平成25年5月16日	(6)委
19	教員の懲戒処分について	平成25年6月3日	(3)
20	教職員の懲戒処分について	平成25年6月3日	(3)
21	教育長に対する服務上の措置について	平成25年6月3日	(3)
22	下野市立小中学校の通学区域に関する規則の全部改正について	平成25年7月25日	(2)
23	下野市立小規模特認校実施要綱の制定について	平成25年7月25日	(2)
24	下野市就学指定校変更に関する事務取扱要綱の一部改正について	平成25年7月25日	(2)
25	平成26年度下野市立小中学校教科用図書の採択について	平成25年7月25日	(5)
26	教員に対する服務上の措置について	平成25年7月25日	(3)

27	下野市立小学校小規模特認校実施要綱の一部改正について	平成25年8月20日	(2)
28	下野市学校適正配置基本計画(案)について	平成25年8月28日	(6)他
29	下野市就学支援委員会の判定結果について(第1回答申)	平成25年9月26日	(6)諮
30	平成25年度下野市児童表彰に関する被表彰候補者児童の内申について	平成25年9月26日	(6)他
31	平成26年度小中学校職員定期異動方針について	平成25年10月18日	(1)
32	第2回下野市就学支援委員会の判定結果について(第2回答申)	平成25年11月21日	(6)諮
33	下野市学校適正配置基本計画の策定について	平成25年11月21日	(1)
34	下野市スポーツ推進委員選考要綱の制定について	平成25年11月21日	(2)
35	第3回下野市就学支援委員会の判定結果について(第3回答申)	平成25年12月19日	(6)諮
36	平成25年度教育委員会表彰被表彰者の決定について	平成25年12月19日	(6)他
37	下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について	平成26年1月16日	(2)
38	下野市スポーツ推進審議会への諮問について	平成26年1月16日	(6)諮
39	下野市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	平成26年2月20日	(2)
40	下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成26年2月20日	(6)委
41	下野市社会教育指導員の委嘱について	平成26年2月20日	(6)委
42	平成26年度下野市教職員の人事異動について	平成26年2月26日	(3)
43	下野市事務局組織規則の一部改正について	平成26年3月20日	(2)
44	下野市教育計画(平成26・27年度)の策定について	平成26年3月20日	(1)
45	平成26年度教育相談員の委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
46	平成26年度スクールアシスタントの委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
47	平成26年度外国語指導助手の委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
48	平成26年度学校評議員の委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
49	国分寺学校給食センター給食費徴収要領の一部改正について	平成26年3月20日	(2)
50	下野市文化財保護審議会委員の委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
51	史跡下野薬師寺跡保存整備委員会委員の委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
52	下野市立小中学校施設の開放に関する規則の一部改正について	平成26年3月20日	(2)
53	下野市スポーツ推進委員の委嘱について	平成26年3月20日	(6)委
54	下野市教育委員会教育長の互選について	平成26年3月25日	(3)
55	下野市教育委員会委員長職務代理者の指定について	平成26年3月25日	(3)
56	下野市学校食育推進委員会設置要綱の廃止について	平成26年3月25日	(2)
57	下野市学校食育研究委員会設置要綱の制定について	平成26年3月25日	(2)
58	下野市外国語指導助手の委嘱について	平成26年3月31日	(6)委

(3)報告事項 56件

番号	件名	報告日
1	教育委員会後援会等の承認について	平成25年4月18日
2	寄附の受け入れについて	平成25年4月18日
3	下野市立中学校部活動大会出場助成金交付要綱について	平成25年4月18日
4	下野市スポーツ大会出場者助成金交付要綱の一部改正について	平成25年4月18日
5	教育委員会後援会等の承認について	平成25年5月16日
6	寄附の受け入れについて	平成25年5月16日
7	平成25年度就学援助費認定状況について	平成25年5月16日
8	平成25年度中学校春季体育大会の成績について	平成25年5月16日
9	平成25年度第2回下野市議会定例会の報告について	平成25年6月27日
10	平成26年度下野市奨学生の募集について	平成25年6月27日
11	教育委員会後援会等の承認について	平成25年6月27日
12	寄附の受け入れについて	平成25年6月27日
13	学校給食費の未納について	平成25年6月27日
14	平成25年度中学校春季体育大会の結果報告について	平成25年6月27日
15	平成25年度第8回下野市民体育祭ティーボール大会結果報告について	平成25年6月27日
16	教育委員会後援会等の承認について	平成25年7月25日
17	平成25年度ウォータースポーツプロジェクトinしもつけについて	平成25年7月25日
18	平成25年度下野市教育委員会点検評価報告書について	平成25年8月20日
19	教育委員会後援会等の承認について	平成25年8月20日
20	平成25年度中学校総合体育大会結果について	平成25年8月20日
21	平成24年度一般財団法人グリムの里いしばしの経営状況について	平成25年8月20日
22	平成25年度第3回下野市議会定例会の報告について	平成25年9月26日
23	教育委員会後援会等の承認について	平成25年9月26日
24	しもつけ市民芸術文化祭について	平成25年9月26日
25	下野市スポーツ活動拠点整備基本計画の検討状況について	平成25年9月26日
26	平成25年度第8回下野市民体育祭キンボールスポーツ大会結果報告について	平成25年9月26日
27	教育委員会後援会等の承認について	平成25年10月18日
28	平成25年度学校教育サポートセンター事業報告について	平成25年10月18日
29	平成25年度中学校新人大会の主な結果報告について	平成25年10月18日
30	第8回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について	平成25年10月18日
31	通学路の安全点検状況の報告について	平成25年10月18日

32	教育委員会後援会等の承認について	平成25年11月21日
33	下野市都市公園条例の一部を改正する条例について	平成25年11月21日
34	第8回天平のマラソン大会の開催実施体制について	平成25年11月21日
35	平成25年度第4回下野市議会定例会の報告について	平成25年12月19日
36	教育委員会後援会等の承認について	平成25年12月19日
37	第8回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の結果報告について	平成25年12月19日
38	教育委員会後援会等の承認について	平成26年1月16日
39	平成26年度教育委員会主要日程について	平成26年1月16日
40	平成25年度成人式の報告について	平成26年1月16日
41	第8回下野市天平マラソン大会の結果報告について	平成26年1月16日
42	教育委員会後援会等の承認について	平成26年2月20日
43	第8回下野市教育のつどいの報告について	平成26年2月20日
44	下野国分寺跡保存整備完成記念について	平成26年2月20日
45	高藤直寿選手の下野市後援会の設立について	平成26年2月20日
46	平成26年第1回定例議会の報告について	平成26年3月20日
47	平成26年度当初予算概要について	平成26年3月20日
48	教育委員会後援会等の承認について	平成26年3月20日
49	寄附の受け入れについて	平成26年3月20日
50	平成26年度下野市学校教育計画について	平成26年3月20日
51	平成26年度教育研究所要覧について	平成26年3月20日
52	下野市子どもの読書活動推進計画(第2次)について	平成26年3月20日
53	下野市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部改正について	平成26年3月20日
54	下野市立小中学校施設の開放に関する使用料条例の一部改正について	平成26年3月20日
55	下野市スポーツ活動拠点整備基本計画について	平成26年3月20日
56	下野市オープンキンボールスポーツ大会2014の結果報告について	平成26年3月20日

(4)協議事項 16件

番号	件	名	協議日
1	下野市小中学校教科用図書選定委員会委員	員の推薦について	平成25年5月1日
2	平成25年度教育委員の学校及び幼稚園訪	問日程について	平成25年5月16日
3	小学校小規模特認校制度について		平成25年6月27日
4	下野市環境審議会委員の推薦について		平成25年6月27日
5	平成25年度下野市教育委員会点検評価報	告書(案)について	平成25年7月25日
6	下野市学校適正配置基本計画(素案)につい	いて	平成25年8月20日
7	平成25年度下野市教育委員会点検評価報	告書(案)について	平成25年8月28日
8	平成25年度教育委員と保護者との懇談会に	こついて	平成25年9月26日
9	下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会規約の	の一部変更について	平成25年10月18日
10	第8回下野市教育のつどい開催計画(案)に	ついて	平成25年12月19日
11	下野市立小中学校の通学区域に関する規則	川の一部改正について	平成25年12月19日
12	第8回下野市教育のつどい開催計画につい	7	平成26年1月16日
13	下野市立小中学校卒業式及び入学式につい	いて	平成26年1月16日
14	下野市教育計画(平成26・27年度)策定協	議について	平成26年2月20日
15	人権推進審議会委員の推薦について		平成26年3月20日
16	平成26年度教育委員会開催日程について		平成26年3月20日

(5)討議事項 4件

番号	件	名	協議日
1	教員の指導について		平成25年5月1日
2	児童生徒の人権について		平成25年5月1日
3	全国学力・学習状況調査結果公表について		平成26年1月16日
4	土曜授業について		平成26年2月20日

(6)その他 24件

番号	件	名	協議日
1	古山小及び石橋小屋内運動場改築工事に	ついて	平成25年4月18日
2	平成25年度下都賀地区市町教育委員会連合会	※教育委員全体研修会について	平成25年6月27日
3	平成25年度下野市教職員合同全体研修会	について	平成25年6月27日
4	自治医科大学公開講座について		平成25年6月27日
5	学校適正配置基本計画骨子の説明会につい	ハて	平成25年6月27日
6	庁舎建設に伴う発掘調査現地説明会につい	て	平成25年7月25日
7	教育福祉常任委員と教育委員の懇談会開係	進計画について	平成25年7月25日

8	教育のつどい講演者の選出について	平成25年8月20日
9	教育福祉常任委員と教育委員の懇談会開催計画について	平成25年8月20日
10	小中音楽祭の案内について	平成25年8月20日
11	ファミリエ下野教育運動について	平成25年8月28日
12	第2回グリムの森フェスティバルについて	平成25年8月28日
13	下野市教育委員会学校訪問(祇園小学校)について	平成25年8月28日
14	教育福祉常任委員と教育委員との懇談会について	平成25年8月28日
15	通学路の安全点検状況について	平成25年9月26日
16	下野市教育委員会学校訪問(吉田東小学校)について	平成25年9月26日
17	下野市教育計画の策定について	平成25年10月18日
18	平成25年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の開催について	平成25年11月21日
19	平成25年度下野市立小中学校卒業式の日程について	平成25年11月21日
20	平成26年度下野市立小中学校入学式の日程について	平成25年11月21日
21	平成26年度教育委員会定例会日程(案)について	平成25年12月19日
22	公民館まつりについて	平成26年1月16日
23	教職員退職辞令交付式及び着任式について	平成26年2月27日
24	平成26年度の主な行事予定	平成26年2月27日

4. 教育委員会議以外での活動状況

教育委員は教育委員会議以外に、学校訪問や各種行事等にも参加しました。

(1) 教育委員会連合会等への参加

栃木県市町村教育委員会連合会総会·全体会·研修会 下都賀地区市町教育委員会連合会定例会 下都賀地区市町教育委員会連合会学事視察 下都賀地区市町教育委員会連合会全体研修会

(2) 学校訪問及び幼稚園訪問

石橋中学校、祇園小学校、緑小学校、吉田東小学校、私立野ばら幼稚園



【石橋中学校での授業参観】



【祇園小学校での教職員との懇談】

◆学校訪問

※各学校の児童生徒数、学級数は平成25年5月1日現在

学 校 名	期日
石橋中学校	平成 25 年 5 月 29 日 午後 0 時~午後 4 時 45 分
児童数•学級数	生徒数 616名 学級数 19学級
計明内容	・ 学校概要説明 ・ 授業参観及び校内巡回
訪問内容	・ 教職員との懇談会 ・ 指導講評

学 校 名	期日
祇園小学校	平成 25 年 9 月 11 日 午後 0 時 25 分~午後 4 時
児童数•学級数	児童数 473名 学級数 19学級
訪問内容	・ 学校概要の説明 ・ 授業参観
可问的谷	・ 給食会食 ・ 教職員との懇談会

学 校 名	期日
緑小学校	平成25年9月26日 午前11時30分~午後4時20分
生徒数•学級数	生徒数 229名 学級数 10 学級
訪問内容	・ 学校概要の説明 ・ 給食会食
初间的谷	授業参観 ・出前教育委員会

学 校 名	期日
吉田東小学校	平成 25 年 10 月 4 日 午前 11 時~午後 1 時25分
児童数•学級数	生徒数 77名 学級数 6学級
訪問内容	・ 学校概要の説明 ・ 授業参観(祖父母参観)
即川川川	・ 給食会食 ・ 教職員との懇談会

◆私立幼稚園訪問(市内7園の内)

幼稚園名	期日
野ばら幼稚園	平成 25 年 5 月 29 日 午前 10 時~午前 11 時 45 分
児童数等	· 定員 210 名 ·園児数 197 名 ·教職員 28 名
訪問内容	・ 幼稚園の概要、教育方針等について ・ 施設見学

◆保護者との懇談会

期日	平成 25 年 11 月 21 日 午後 7 時~午後 9 時
出 席 者	教育委員 5 名、小中学校 PTA 16 名、事務局
懇 談 内 容	「いじめをしない・させない・許さない環境づくり」

◆教育福祉常任委員との懇談会

期日	平成25年10月4日 午後2時30分~午後4時30分	
出席者	市議会教育福祉常任委員 6名、教育委員 5名、教育次長、各課長、事務局	
懇 談 内 容	「夢 ― 私たちが子どもたちに残せるもの」 ~子どもの頃に影響を受けた「人」「書物」等を手掛かりに~	

(3) その他

下野市採択地区教科用図書選定委員会 下野市立学校給食センター運営委員会 下野市生涯学習推進協議会 下野市地域情報化推進会議

下野市自治基本条例檢討委員会 下野市都市計画審議会 下野市人権推進審議会 下野市環境審議会 他

教育委員会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問等	そ の 他
4月	1回	学校教職員辞令交付式		県市町村教育長会議
		小学校・中学校入学式		県教育委員会教育長人権教育連絡会議
				市学校適正配置基本計画策定委員会
				市教育長部会総会
				市教職員協議会
				市地域婦人会総会
				市スポーツ推進審議会
				市文化協会通常総会
				下地区市町教育委員会連合会定例会
5月	2回	小学校運動会・中学校体育祭	野ばら幼稚園	都市教育長協議会
		特別支援小中合同レクリエーション大会	石橋中学校	市体育協会評議員会
				市学校適正配置基本計画策定委員会
				市PTA連絡協議会総会
				市スポーツ少年団総会
				ふれあい学習推進委員会
				関東甲信越静市町村教育委員会総会
				市青少年育成市民会議総会
				下地区教育長部会
				人事問題協議会
				市就学支援委員会
				自治基本条例市民フォーラム
				県市町村教育委員会連合会総会
				市文化財保護審議会
				グリムの里いしばし評議員会
6月	2回	小学校運動会・中学校体育祭		市点検評価委員会
		市民体育祭ティーボール大会		市教科用図書選定委員会
		古山小学校屋内運動場改築工事安全祈願		スポーツ活動拠点整備検討会
				総合型地域スポーツクラブ交流会
				市幼保小連携連絡協議会
				下地区教育長部会
				子どもの読書活動推進計画策定委員会(第1回)
				市国分寺給食センター運営委員会
				図書館協議会
				下地区小中高校PTA連絡協議会教育懇談会
7月	2回	下野市小学校陸上記録会	共同訪問	下都賀地区教育委員会連合会学事視察
		(ウォータースポーツプロジェクトトライアスロン大会)	(国分寺西小学校)	下地区教育長部会
			(国分寺中学校)	市図書館協議会
			(国分寺小学校)	市公民館運営審議会
				生涯学習推進協議会第1回専門部会全体会議

教育委員会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会議	以外の活動状況一覧 各種行事・大会	学校訪問等	そ の 他
7月	2回			市教科用図書選定委員会 (第2回)
				下野地区学校警察連絡協議会定期総会
				スポーツ活動拠点整備検討会(第2回)
				下地区教育委員会連合会全体研修会
				市学校食育推進運営委員会
				市幼稚園連合会キッズフェスティバル
				市PTA連絡協議会
8月	2回	石小屋内運動場改築工事安全祈願		スポーツ活動拠点整備検討会(第3回)
				市生涯学習推進協議会及び専門部会合同研修会
				学校適正配置基本計画策定委員会
				市就学支援委員会
				下地区教育長部会
9月	1回	小学校運動会・中学校体育祭	祇園小学校	市食育推進委員会(第1回)
		市民体育祭キンボール大会	緑小学校(出前教育委員会)	下地区教育長部会
		敬老会		県民スポーツ大会選手結団式
		市小中学校音楽祭		市議会常任委員との教育懇談会
10月	1回	市民体育祭	吉田東小学校	B&G教育長会議
		市民芸術文化祭	児童表彰	下都賀地区教育長部会
				下都賀地区市町村教育委員会連合会定例会
				人事問題協議会
				県市町村教育委員会連合会市教育長部会
				下都賀地区教頭会研究発表会
11月	1回	市消防団通常点検	児童表彰	栃木県市町村教育委員会連合会総会研修会
				第22回栃木教育振興大会
				県ふれあい学習推進委員会
				甲塚古墳保存整備委員会
				市社会教育委員会議
				学校適正配置基本計画策定委員会
				市就学支援委員会
				市公民館運営審議会
				市総合型地域スポーツクラブ会議
				B&G全国教育長会議
				教育委員と保護者との懇談会
				下地区教育長部会
12月	1回	市人権教育講演会		下地区教育長部会
		南河内地区一周駅伝競走大会		下野薬師寺保存整備委員会
		(スポーツ少年団SHIPS大会)		市公民館運営審議会
				市スポーツ推進審議会

教育委員会議以外の活動状況一覧

月	教育委 員会議	各種行事・大会	学校訪問等	そ の 他
1月	1回	天平マラソン大会		下地区教育長部会
		成人式		人事問題協議会
		賀詞交歓会		B&G全国サミット
		市教育のつどい		
2月	2回	教育講演会		下地区教育長部会(3回)
		各館公民館まつり		B&G教育長会議
		古山小・石橋小屋内運動場落成式		しもつけ薪能公演実行委員会 (第1回)
				市文化財保護審議会 (第2回)
				社会教育委員・公民館運営審議会合同会議
				図書館協議会
				下地区市町教育委員会連合会定例会
				市国分寺給食センター運営委員会
				市食育推進委員会 (第2回)
				市ふれあい学習推進委員会(第2回)
3月	3回	小学校・中学校卒業式		市スポーツ推進審議会(第3回)
		薬師寺史跡まつり		完全退職者と教育委員の懇談
		学校教職員退職辞令交付式		県警察年頭視閲式
		下野オープンキンボールスポーツ大会		

5. 施策ごとの取組状況

平成25年度に実施した事務事業については、平成20年3月に策定された「下野市総合計画」の基本施策に基づき、次に掲げる3つに分類しました。

- (1) 次代を担う人材の育成
- (2) 生涯にわたる学びの機会の充実
- (3) 豊かに暮らす文化の振興

教育委員会においては、各課2事業を選定し、「平成26年度 教育委員会の点検・評価シート(平成25年度事業)」を作成し、内部で点検・評価を行い、その後、外部評価をいただき意見をまとめました。

(施策1) 次代を担う人材の育成

<基本方針>

今日、子どもを取り巻く社会環境は日々変化しています。教育現場においても様々な問題や課題があり、それらを適切に判断し解決していくことが必要です。また、次代を担う子どもたちの育成のためには、学校・家庭・地域社会の三者が一体となり、共通理解のもと教育活動を進めていくことが大切です。「下野市学校教育計画」における学校教育目標を達成し、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育成するために、教職員のさらなる資質向上に努め、児童生徒の学力向上と豊かな心、健やかな体の育成に努めます。

小・中学校の配置については、児童・生徒数が減少傾向にあることから、 当市にふさわしい良好な教育環境の充実を目指して、学校規模の適正化を推 進していきます。

幼児教育については、少子化の進展により幼児数が減少している中、国・ 県の制度に基づく支援を基調に、教育内容の充実を図ります。

また、児童生徒や地域の避難場所としての安全性の確保や、老朽化等に対応した学校等の施設・設備の整備を進めます。

<H25年度事業一覧>

教育総務課	○教育委員会運営事業○教育総務運営事業○学校適正配置推進事業○奨学金貸付事業○幼稚園・保育園・小学校連携事業○小中学校施設管理事業○小中学校施設整備事業○小学校屋内運動場改修事業○中学校改修事業
-------	---

教育総務課	○幼稚園就園奨励費補助事業○幼稚園第二子等保育料減免補助事業○幼稚園子育てランド事業○幼稚園はばたき支援事業
学校教育課	 ○学校教育運営事業 ○児童生徒就学援助費事業 ○スクールアシスタント配置事業 ○教育研究振興事業 ○下野子ども力発動プロジェクト事業 ○情報教育ネットワーク活用事業 ○エス・アンド・ユーコラボ事業 ○児童生徒英語教育推進事業 ○小中学校教科用図書選定事業 ○ユースサポート事業 ○特別支援教育推進事業 ○学校教育サポート事業 ○エネルギー教育推進事業

(施策2) 生涯にわたる学びの機会の充実

<基本方針>

市民が生涯にわたって豊かな人生を送ることができる下野市の実現を目指し、生涯学習による「ひとづくり」と「まちづくり」を行います。

「ひとづくり」では、個人の向上に必要な学習を提供し、生活課題や健康、生きがいづくりを、「まちづくり」では、社会の向上に必要な学習を提供し、市政への参画と協働、地域コミュニティの醸成や地域課題解決を支援します。

また、市の将来を担う子どもたちの健全育成は、特に重要な課題となっています。青少年の健全育成に必要な学習の提供を行うとともに、学校や家庭、地域が連携した地域全体での取り組みを支援していきます。

生涯にわたるスポーツ活動を通した市民一人ひとりの健康維持や体力づくりと、豊かな地域社会の実現に向け、既存施設を十分活用しながら、誰もが親しむことができるスポーツの振興を図ります。

スポーツ施設の整備・機能充実については、利用者動向や維持経費を考慮 しながら、適正な配置と機能の充実を進めるとともに、市民の一体感を醸成 するスポーツ活動の機会の充実に努めます。

また、市民が集い多目的のスポーツ・レクリェーション活動ができる施設整備を図るため、大松山運動公園を拡張し、市民がスポーツを身近に楽しむことができるスポーツ活動の拠点となる本格的な運動公園の整備を進めます。

<H25年度事業一覧>

生涯学習課	 ○社会教育総務事務事業 ○生涯学習推進事業 ○社会教育事業 ○青少年育成事業 ○人権教育事業 ○市民情報化推進事業 ○セカンドステージ支援事業 ○生涯学習情報センター管理運営事業 ○公民館管理運営事業 ○公民館施設修繕事業 ○公民館耐震診断事業 ○図書館共通管理運営事業 ○図書館施設修繕事業 ○図書館施設修繕事業
スポーツ振興課	○石橋総合病院移転関連事業○保健体育総務事務事業○スポーツ振興事業○体育施設管理事業○体育施設改修事業○スポーツ活動拠点施設整備計画事業

(施策3) 豊かに暮らす文化の振興

<基本方針>

文化芸術を創造し、享受し文化的な環境の中で生きることは、世代を超えた市民の変わらない願いです。

また、文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高め、人と人との心のつながりや相互に理解し、尊重し合う心豊かな社会を形成するものです。

さらに、それ自体が固有の意義と価値を有するとともに、自己認識の基点 となり、文化的な伝統を尊重する心を育てるものでもあります。

市民と地域が自らの手で進める伝統文化の伝承、文化活動を支援していきます。

本市に受け継がれた埋蔵文化財については、開発行為に伴う発掘調査を行うことにより、記録として保存され、市民共有の遺産となります。文化遺産については、市民が広くその価値を認識できるよう、史跡見学会、各種講座、体験学習など活動の機会の充実に努めます。

<H25年度事業一覧>

文化課

○芸術文化事業

○グリムの森等管理委託事業

○文化財保護事業

○デジタルミュージアム運営事業

○薬師寺跡保存整備事業

○国分寺跡整備事業

○下野薬師寺歴史館管理運営事業



自治医科大学連携講座



甲塚古墳出土 機織り形埴輪(復元)



ふれあい学習推進員会研修会



下野薬師寺跡史跡まつり (紙芝居)

6. 評価シート総括表 (H25年度事業)

課名	事業名	事業費(千円)	ページ
教育総務課	教育委員会運営事業	2,088	20
学 义 目 ₩心1分 μ木	学校適正配置推進事業	116	21
学校教育課	教育研究振興事業	6,773	22
子仪教目硃	下野子ども力発動プロジェクト事業	595	23
H는 VEC 산식 되지 -H	生涯学習推進事業	242	24
生涯学習課	公民館管理運営事業	41,454	25
スポ゚ーツ振興課	保健体育総務事務事業	9,888	26
△小 一/1灰突床	スポーツ活動拠点施設整備計画事業	8,736	27
文化課	文化財保護事業	11,531	28
义 16㎡	下野薬師寺歴史館管理運営事業	10,130	29

7. 外部評価委員会の開催

上記の事業について外部評価委員会を開催(平成26年6月27日・7月8日)

- ○外部評価委員会への全体説明と点検評価
- ○外部評価委員による協議・まとめ

8. 評価シート個別表 (次ページより)

施策	次代を担う人材の育成				所	属	名	教育総	務課
事業名	教育委員会運営事業				事	業	費	2, 088	千円
開始年度	平成17年度	根拠法令等	地方教育	行政の組織	織及で	「運'	営に	関する法律	
実施方法	■直接 □委託 □補	助 口負担金	口その他	I.(J	
目 的	政治的中立と教育行政 合議制の執行機関である 民)の5名で構成。学校で 広い分野にわたる教育で	る。教育長及び その他の教育機	非常勤で 関の管理	ある委員(教 を始め、生	教育の 涯学	の専 習・	門家文化	や行政官で(・スポーツ振!	はない住
具体施策	① 教育委員会議の開催② 教育委員会議以外の ○学校及び幼稚園訪問 ○保護者との懇談会 ○市議会教育福祉常任 ○教育のつどいの開催 ○市内外の教育委員	D活動 問の実施 (学校 11/21 『いじめ 任委員会との懇 崔 1/25 (教育	交等概要説 をしない・る 談会 10/ 育委員会表	明・授業参 させない・記 4 『夢― 記念課	午さな 私たり	い環	境づ	ミ くり』	
	① 教育委員会議の開 〇定例会議に留まら 権意識」等についる 一人教職員による不祥 回開催し、学校か も逐次行い、学校 〇「下野市学校適正 実を図るための施会 ② 教育委員会議以外	ず、委員自ら記 て理解を深めた 事(児童に対す らの情報収集及 ・保護本計画」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で で で で で で で で で で で で	こ。 「る人権無 なび理解の くコミ等に の議決ま	視の言動) 共有化を 対し迅速が でに、児童	が多 図った かつ記 童・5	発生 に 成実 生徒	した; また; な対! のよ	ため、臨時会 、経過報告に なを行った。 り良い教育野	会を複数 こついて 環境の充
検証	学校訪問・幼稚記 5 件 〇学校訪問では、教育 実施し、身近な話題 〇保護者との懇談会で 交換を行った。市議 して、各々の経験や 〇「教育のつどい」時の 〇教育委員としての役事・学校行事はもと	2 可現場のソフト・から教育行政へでは、PTAのア 員との懇談会で 職業観に基づる 別記念講演会に 割や理解を深る	回 ハード望ま シケー子ども、 き「今、大者 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	で、幅広い 注果に基づき もの頃に影 、が子どもに まに配慮した 市内外の研	把意と響で要会	すをい受る約に	1 共わいたと記極	相互理解を済 ついての活動・書物等を手 ・書物等を手 こついて模索し を初めて導入 かに参加した。	深めた。 発な意見 掛かりと した。 した。 。市の行
今後の課題 及び 今後の対応	 教育委員会の制度は 合教育会議のあり方 身近な教育委員会を や議事傍聴の促進に 	、教育委員会の 市民に浸透さ	運営方法 せるため、	等について 行政メディ	調査 アの	·研 活用	究が. (開作	必要となる。 崔告示・会議	録公表)

	総合評価	点検・評価に関するコメント
Α	十分成果が上がって良好に行われている	教育委員会定例会以外の行事参加や教育委員会臨時会の 回数を増やすなど、活発で真剣な活動が認められます。今後
В	成果が上がって概ね良好に行われている	は、行政のメディアなどを活用して積極的に広報に努め、更に開かれた教育委員会となるよう期待します。
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	15別が10に扱用女兵云に必必みり物付しより。

施策	次代を担う人材の育成	所 属 名	教育総務課		
事 業 名	 学校適正配置推進事業	事業費	116千円		
 開始年度	│ │ 平成24年度 根拠法令等 学校教	 处育法施行規則			
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担金 □その)		
目 的	下野市立小・中学校の児童生徒のより良い教 を図ることを目的とする。	教育環境の充実と少子化	こ伴う複式学級の解消		
具体施策	教育委員会事務職員による部内会議と、そのメンバーに教育委員、学校長を加えた全体会議からなる「下野市学校適正配置基本計画策定委員会」を設置し、平成23年10月に答申された学校適正配置答申を踏まえ、地域の実情を加味しながら「下野市学校適正配置基本計画」を策定した。計画の期間は平成26年度から35年度までの10年間。 ① 部内会議の開催 4/10・5/8・8/12・8/26・11/21 (5回) ② 全体会議の開催 4/18・5/16・8/20・8/28・11/21 (5回) ③ 地域、保護者等を対象とした当該基本計画「骨子」説明会の開催 6/28・7/9・7/22・7/23・7/26・7/29・7/30・7/31・8/1・8/2・8/5・8/6 (12回) ④ 10月にパブリックコメント募集を行い、その結果を踏まえ当該計画を調整した。11月の教育委員会において議決を行い、12月市議会に計画策定の報告を行った。 ⑤ 当該計画の周知については、市広報誌やホームページ等(全文ダウンロード可)に掲載し、更に概要版を作成して学校関係者や推進対象地区の保護者等に配付した。				
検 証	 ①② 部内会議、全体会議の開催 ○ 基本計画の策定は、平成24年度からの継続事業であったが、保護者や自治会等への説明会を実施する中で、地域の実情とはかけ離れた部分があったため、策定委員会において内容を修正すべく、計画の方向性について十分な審議を行い表現の細部にも留意した。 ③ 保護者、自治会等を対象とした基本計画「骨子」説明会の開催 ○ 細谷小と国分寺西小については、当事者である保護者の意見を把握するため、地域住民とは別に説明会を実施した。両校とも小規模特認校制度を活用することにより、当面は学校を存続する方向になった。なお、平成10年度から小規模特認校の指定を受けていた細谷小については、今後の実施状況を踏まえ、存続か統合についての検討を行うことになっている。 ○ 南河内中学校区(薬師寺小・吉田東小・吉田西小)については、通学路区域の変更は実施せず、長期的な取り組みとして小中一貫教育を目指すこととなった。3校とも、耐震構造(大規模改修済み)であり、学校施設としては現状維持となったため、保護者や自治会等の関 				
今後の課題 及び 今後の対応	心が薄らぎ、説明会への参加者は他に比し ・ 平成26年度から小規模特認校制度を導入し はいない。全児童数は49名であるが、平成2 なる。この現状を踏まえ、教育委員会として、 先進地視察等を実施し保護者の参画を促して ・ 中学校区ごとに実施している小中連携教育に デル地区に位置づけ、更なる交流事業が展開	した国分寺西小では、6月 28年度には、全児童数が 定期的な学校との話し合 こいく。 こついては、特に南河内中	約30名(新入生1名)といや、小規模特認校の学校区の3小学校をモ		

	総合評価	点検・評価に関するコメント			
Α	十分成果が上がって良好に行われている	社会や地域の複雑な事情がある中において、いろいろな立場の人から丁寧に意見を聞き、具体的で実効性の高い計画			
В	成果が上がって概ね良好に行われている	あの人がら了学に思えて聞き、具体的で実効性の高い計画			
О	成果が十分に上がっておらず改善が必要	考えながら、実行に移していただくことを期待します。			

施策	次代を担う人材の育成	所 属 名	学校教育課
事業名	教育研究振興事業	事業費	6, 773千円
開始年度	平成23年度 根拠法令等 下野市教育研究所	設置条例	
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担金 □その他〔		J
目 的	学習指導の工夫・改善等について調査研究を行い、教職 資質の向上を図るとともに、特色ある教育活動や特別支援 開催により本市における教育水準の向上を目指す。		
具体施策	 ・市教職員の全体研修会の開催(年3回、4/5:約370人、8 ・学習指導主任研修会の開催(学習指導主任研修会(5/7:10/28、11/28:各26人、他9回) ・全国学力・学習状況調査、下野市学力検査、下野市学習を対象を表別である。 ・社会科副読本の情報収集(研究会4回)、小中連携教育を、特色ある教育活動の推進(学校の創意工夫により行われあたり15万円を基準額とし、市で補助金を交付する) ・特別支援教育の推進(特別支援教育コーディネーター研任研修(4/18:16人)、通級指導教室担当者研修(4/11) 	16 人)、教職 意欲調査の実施 研究事業(研究 る教育活動に 修(6/13:16/	2·3 年目研修(8/1、 施·分析 会 7 回) 関する事業に、1事業 人)、特別支援学級担
検 証	・全体研修会における教育講演会(8/5:約300人)において演を聴き、学級づくりに大きな参考となった。また、研究発達を受けた実践事例を発表してもらい研究内容についてきまることができた。 ・ 全国学力・学習状況調査、下野市学力検査、下野市学習がなの改善点等を具体的に知らせることができた。 ・ 社会科副読本では、写真やグラフなどの統計資料を新しい中学校区で研究協議を通して情報交換をすることができた。 ・ 各学校において、タブレット型パソコンを利用した授業研究観察研究ができるようにとビオトープの設置、ふくべ細工ど地域の方々との交流も交えてのふるさと学習、地域内的の訪問、学校行事への高齢者招待などの地域との連携がり組んだ。(小学校5校、中学校1校) ・ 特別支援教育に関わる各種研修や講話のほか、事例研究	表会(1/15:約 も有することが のための学校 意欲調査の結: こ。 さい身した こ。 さい身にないでく というな関づして を公話動等、特	370人)では、県の表できた。課題研究の充実を図果を分析・考察し各学読本が作成できた。各型の動植物に親しみ、びいた動やるできた。各型の動やの動性を表した。といい、かんぴょう料理など活動や有活動に取られる教育活動に取られる
今後の課題 及び 今後の対応	小中学校の外国語の授業において、担任・ALT の授業力業の日常化、情報モラル教育の計画的な実践を行っていくが分析を更に学力向上に反映させるための取り組みが必要で・外国語の授業や情報教育等の課題について、現状に沿っに盛り込み、実施していく。 ・ 県のとちぎっ子学習状況調査の結果も分析・考察し、各学て取り組んでいく。	の向上やICTを 必要があり、ま ある。 った計画的な内	を効果的に活用した授た、学力検査の結果・ 容を各種研修会の中

	総合評価	点検・評価に関するコメント
Α	十分成果が上がって良好に行われている	学力テストの分析等が活発に行われています。各学校の特色を活かした取り組みが、更に発展するよう期待します。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	こされがじに取り値がが、更に光成するより物付しよす。
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

 施 策	次代を担う人材の育成		所属名	学校教育課		
			丁汉			
事業名	下野子ども力発動プロジェクト事業		事業費	595千円		
開始年度	平成25年度 根拠法令等	教育基本法				
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担	金 □その他〔)		
目的	子どもたちが主体的に協議・交流し、子どもたち自身の手で、子どもたちのためになる運動を 展開することにより、主体的に関わり、発信し、行動できる子や「いじめをしない・させない・見逃さない」など、正しい判断のできる子を育てる。					
具体施策	 下野市の 4 中学校の生徒会を中心として、子ども達自身により「学校生活をより良くするために心がけること」を考えて決定し、リーフレットを作成して中学生世帯へ配布する等、市内全ての児童生徒や地域、保護者への周知を行い、意識付けを図った。 「プロジェクト」について、中学校単位で小学生(児童会)にも呼びかけを行った。 小中連携事業の児童生徒交流等において、「プロジェクト」に基づき、中学生が学区内の小学校に出向いて直接説明・話し合いをするなど、交流を実践した。 					
検 証	・ 4 中学校生徒会役員による話し合いを行い、発信する内容を決定した。メインテーマが、『輝未来・あふれる笑顔』。サブテーマが、「~支え合い・わかり合い・心の輪を広げよう~」と決しポスターとのぼり旗を作成し各小中学校で周知ができた。市小中音楽祭において、参加し南河内中学校生徒会役員が、本プロジェクトの取組の紹介・発表を行い周知できた。のぼり旗作成 200 本、401,100 円・この取組を中学校生徒会役員が小学校にメイン・サブテーマについて説明し、中学校から小校にも広げていく事ができた。 ・ 教育のつどいにおいて、国分寺中学校の生徒がプロジェクトについての趣旨説明を行うことより啓発ができた。 ・ 石橋中学校の生徒会役員が小学校でした話しの中で、自校で行っている自問清掃の話しがり、早速、その小学校で清掃の時間に取り入れたところ、清掃中は話しをせずに意欲的に清を行うようになったなど、計画以上の効果を得ることが出来た。					
今後の課題 及び 今後の対応	各中学校区において、今後は、生行みを検討し、実践していく必要がある・事業の初年度は、事業の趣旨やデーマの周知が図れたので、平成2どの作成や地域行事への参加のに知を図っていく。・小学校への呼びかけができたので区ごとに計画し実践していく。	ーマの周知を主としてi 3 年度からは、具体的i ほか、教育のつどいや文	進めてきたが、 な実践を進めて に化祭などの機	メインテーマやサブテ こいく。また、横断幕な 会をとおして更なる周		

総合評価		点検・評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	小中連携が推進されていて、スローガンだけではなく初年度 から一部ではあるが、具体的な実践が見られるところを高く
В	成果が上がって概ね良好に行われている	評価します。
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

		1	T			
施策	生涯にわたる学びの機会の充実	所属名	生涯学習課			
事 業 名	生涯学習推進事業	事業費	242千円			
開始年度	平成18年度 根拠法令等 社会教育法					
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担金 □その他〔		J			
目的	市民一人ひとりが生涯を通して、あらゆる分野の学習活動に対し、「いつでも、どこでも、だれでも」学習機会を自由に選択して学ぶことができ、その成果が適切に活かされる生涯学習社会を実現することを目的とする。 多様化した市民の学習ニーズに応えるため、生涯学習の推進並びに学習環境の整備に努めるとともに、関係機関・団体との連携を深めつつ、市民の自主的な社会参画を促進する。					
具体施策	①生涯学習推進本部及び生涯学習推進協議会の機能の充実 「下野市生涯学習推進計画」に基づき、市民と行政の協働により、市民の自主的な社会参画 活動を促進する。 ②ふれあい学習推進委員会の充実 学校教育と社会教育とが連携し、それぞれの教育機能を共有し合える関係を地域住民と共に 構築し、学校の教育機能の地域への開放と地域の教育力を活用した学校教育、更に地域コミュニティの拠点としての学校を目指す。 ③自治医大連携講座の開催 自治医科大学と共催し連携講座を実施することで、下野市独自では提供することの出来ない 最先端の医療についての学習機会を提供する。					
検 証	①「生涯学習推進計画」に沿って全市を挙げて生涯学習指から7年が経過し、史跡案内等のガイドマップの作成やフ参加の盛り上がりが見える。 ②ふれあい学習の推進により、市民にもふれあい学習が気情報センターにボランティアコーディネーターを配置するでが増加している。平成22年度の点検時は、学校支援ボラ104人に対し今回は201人(97人増)、団体では15団40社(40社増)、また、生涯学習ボランティアバンクでは回は78人(18人増)、団体で31団体に対し25団体(6団3自治医大との連携講座は、「予防医療と最新医療」をメイあり、5日間で延べ1,448名の受講生を得て過去最多と	アミリエ下野市 まましてきた。まことで、ボイランランティアバンク 本に対し5団体 、、登録者数が 体減)となった。	民運動などに市 民 た、下野市生涯学習 ティアバンクの登録者 の登録者数が個人で (10団体減)、企業は 個人で60人に対し今			
今後の課題 及び 今後の対応	生涯学習推進協議会専門部会を、出前講座等に限定せず市民と行政が協働で広範な学習会を創出する場となるよう、具体的なテーマを設定して事業を展開していく。 学校に地域連携教員が配置されたことにより学校と地域が連携した取り組みを行うなかで、特別で、地域・家庭の連携・協力体制を充実するためのふれあい学習推進委員会を活性化する。					

	総合評価	点検・評価に関するコメント				
Α	十分成果が上がって良好に行われている	ボランティアバンク登録が全体として増加傾向にあることを評価します。今後は学校側の地域連携教員を中心に学校支援				
В	成果が上がって概ね良好に行われている	ボランティアを一層活用されるようを期待します。				
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	自治医大との連携講座を更に市民サービスにつなげていた だくよう期待します。				

施策	 生涯にわたる学びの機会の充実	所属名	生涯学習課			
事業名	公民館管理運営事業 	事業費	41, 454千円			
開始年度	平成18年度 根拠法令等 社会教育法					
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担金 □その他[]			
目的	生涯学習の中核施設として地域に根ざした学習課題を的確に把握し、あらゆる世代に親しまれる各種講座の開催や公民館の持つ「つどう、まなぶ、つながる(むすぶ)」機能を生かし、自主サークル、各種団体への情報提供や支援にも努め、気軽に集まれる憩いの場、交流の場として地域コミュニティーの再生と住民自治の発展、地域文化の創造と人づくりに寄与し、明るく住みよい地域づくりを目指す。					
具体施策	1 各種公民館講座の開催 ・家庭教育講座(乳幼児から思春期まで、楽しく子育でするために悩みを解決する方法を学ぶ) ・青少年講座(新たな友達と一緒に行動し、自立心を養い協調性を学ぶ体験講座) ・セカンドステージ支援講座(退職を迎えた団塊の世代に、地域への参画を支援する) ・成人講座(実生活の充実や趣味を学び、受講生同士で地域の仲間づくりをする) ・高齢者講座(健康維持や介護問題などを楽しく学び、毎日を元気に過ごしていく) 2 公民館自主サークルの支援(自主サークルの設立や運営に助言し、学習機会の充実を図る) 3 公民館まつりの開催(公民館講座生等の日頃の学習成果の発表の場として開催する) 4 施設の維持管理(施設の機能を維持し、清潔に保ち、利用者に気持ち良く利用してもらう)					
検 証	1 公民館講座は62講座、433回を開催し、申込者は2,025人、延受講者は7,705人となった。若いお母さんの参加を得るために実施した託児付きの家庭教育学級では、定員20名のところ参加19名うち18名が託児希望、また、別の講座では、定数20名のところ参加17名うち託児希望3名となった。 2 自主サークルは前年より2団体増えて158団体となった。公民館を拠点として活発な活動が見られる。 3 公民館まつりは2月の土、日曜日に4公民館が順次実施し、国分寺公民館で約2,200人、戸河内で約500人、石橋で約700人、南河内東で約500人の来館者となり、一部、悪天候に影響されるも、盛大に実施できた。 4 施設の維持管理については、施設の老朽化により雨漏り、トイレ、排煙窓の修繕があった。					
今後の課題 及び 今後の対応	1 趣味の講座等は盛況だが、家庭教育講座に定員割れがしたところ、ほぼ定数の受講者を得られた。今後も託児付民館独自のカラーを出す)検討し、広報媒体を活用しながない。 2 自主サークルの会員は高齢者が多く、徐々に人数が減めり、新たなサークルの設立のための支援や会員の加入3 建設から石橋公民館が48年、国分寺公民館が33年、下老朽化が見られ、修繕箇所も増え、スポットで対応し、利用耐震診断の結果、石橋公民館の耐震性が不十分であるた	多いため、託児き講座を増やする。受講生の確 りし活動できない 促進が課題とな 東河内公民館が 関者に不便を来	付き講座を2講座開催 けほか、時期や内容(公保に努めなければならくなっているサークルもいっている。 が34年を経過し施設のさないように心がける。			

	総合評価	点検・評価に関するコメント
Α	十分成果が上がって良好に行われている	全ての世代を対象とした社会教育の一層の充実に向け、託児付き家庭教育講座などの工夫をされていることを評価しま
B	成果が上がって概ね良好に行われている	す。各公民館の創意工夫によってサークル活動が発展してい
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	くことを期待します。サークル活動の参加者の拡大や活動成果の発表の場の充実を期待します。

施策	生涯にわたる学びの機会の充実			所 属 名	スポーツ振興課
事業名	保健体育総務事務事業			事業費	9, 888千円
開始年度	平成18年度	根拠法令等	・スポーツ基本法 ・下野市スポーツ推 ・下野市スポーツ推 ・下野市スポーツ少	進委員に関す	る規則
実施方法	■直接 □委託 □補	助 ■負担金	口その他〔)
目的	市民 "ひとり1スポーツ"の推進を目指し、多様化する市民のスポーツに対する要望に応え、子供から高齢者までの方が、いつでも気軽にスポーツに親しめるような環境整備を進めるとともに、指導員の養成や資質の向上に努め、スポーツ活動の推進を図ることを目的とする。			境整備を進めるととも	
具体施策	 ①スポーツ推進審議会を年3回開催し、スポーツ活動の拠点となる施設を整備するための基本計画を審議し、また、体育施設の使用料の見直しについて協議を開始した。 ②スポーツ推進委員会を毎月開催し、市民スポーツ活動の充実を図るため、各種スポーツ事業の運営、実技指導及び地域のスポーツクラブ育成のコーディネーターとして活動している。 ③少年スポーツ指導員(99名)を委嘱し、子どもの発育期のスポーツ活動に対し、それぞれの体力、年齢、目的などに対応した実技指導を行った。 ④総合型スポーツクラブ事務局員(3名)を配置し、各クラブの円滑及び充実した事業運営を図ることを目的にクラブの活動支援を実施し、事業を展開した。 				
検 証	 ①スポーツ活動拠点整備基本計画について、スポーツ推進審議会の意見を聴きながら審議検証し、議会に説明報告して決定した。また、体育施設の使用料の見直しについて、協議検討を開始した。 ②スポーツ推進委員は、市民体育祭、キンボールスポーツ大会、ティーボール大会、駅伝・マランン大会等の行事等の運営・協力支援を行い、また、各種スポーツ教室や指導者講習会等に対加し、知識や技術の習得など資質向上に努めた。 ③少年スポーツ指導員は、県スポーツ少年団や競技団体が主催する各種競技大会・指導者を修会・団員交流会に参加するとともに、市スポーツ少年団独自の指導者向けの研修を行い競技力の向上や団員の指導育成の習得に努めた。 ④総合型スポーツクラブは、各種スポーツ教室など市民のニーズに応じて、地域と密着した事業展開に努めた。 			ついて、協議検討を開 ール大会、駅伝・マラソ 指導者講習会等に参 意競技大会・指導者研 首向けの研修を行い、	
今後の課題 及び 今後の対応	及びに推進するための指針となる、下野市スポーツ推進計画を策定する。			め、12 月の条例改正 を総合的かつ計画的 向上を図るため、各種	

	総合評価	点検・評価に関するコメント
Α	十分成果が上がって良好に行われている	前年度の評価を活かして、幼児向けの事業が充実してきてい
В	成果が上がって概ね良好に行われている	ます。また、指導者の講習会を独自に実施していることを評 価します。
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

施策	スポーツ・レクリエーション活動を推進する体育施設の整備・拡充 所属名 スポーツ振興課			スポーツ振興課	
事業名	スポーツ活動拠点施設整備計画事業			事業費	8, 736千円
開始年度	平成24年度 根拠法会等 下野市スポーツ活			動拠点整備基本構想動拠点整備基本計画	
実施方法	■直接 □委託 □補	助 口負担金	口その他[J
目的	市民誰もがスポーツを親しみ、健康づくりができる施設や公式大会が行える陸上競技場など本格的な運動公園が未整備であるため、市民が集い多種目のスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の整備が課題となっていた。 これらのニーズに応えるために、市民が身近にスポーツを楽しむことができるスポーツ活動の拠点となる運動施設を主体とし、緑地機能並びに広域避難地としての機能を備えた公園として整備を行う。				
具体施策	平成24年度に策定 動拠点施設整備を実施 した。 ① 検討委員会の開 (委員 15 名) ② スポーツ活動拠	をするため、平原 催(5 回) 179	改25年度に「スポー 9 千円(報償費 176	ツ活動拠点整	
市民からの公募やスポーツ関係機関、学校、団体等の代表者で構成される動拠点整備検討会」を設置し、多様な意見をいただきながら慎重に審議を行い (案)を作成し、その後、議会の意見やパブリックコメントにおいても意見をいただ 月に基本計画を策定することができた。			議を行い、基本計画		
今後の課題 及び 今後の対応	方針を決定していく。				・実施し、整備の基本 収と家屋移転に努め

	総合評価	点検・評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	「水と緑のふれあいスポーツパーク」の計画理念に基づき、緑を活かしながら、幅広い年齢層が利用できる整備計画になっ
В	成果が上がって概ね良好に行われている	ていることを高く評価します。実施段階においても十分な成果
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	が得られるよう期待します。

施策	豊かに暮らす文化の振興 文化遺産の保存と活用		所 属 名	文化課
事 業 名	文化財保護事業		事 業 費	11, 531千円
開始年度	平成 18 年度 根拠法令等 下野市	市文化財保護条	:例	
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担金 □その	か他[j
目的	市内に所在する国指定史跡(下野薬師寺跡、下野国分寺跡・尼寺跡、小金井一里塚を初め、県指定、市指定史跡・文化財(合計105件)の保護・管理・活用をおこなう。このほか、市内に所在する550か所の埋蔵文化財包蔵地・古墳等に対して開発行為の際に事前の調査をおこない、記録保存として調査報告書を作成する。			活用をおこなう。
具体施策	・文化財保護審議会の開催(年2回) ・文化財悉皆調査 ・下野市文化財バーチャルミュージアム運営事業 ・市内史跡・文化財の清掃管理(小金井一里塚の害虫防除・剪定) ・全国史跡整備市町村協議会総会 ・新庁舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査(現地見学会開催:見学者約80人) ・薬師寺コミュニティセンター建設に伴う発掘調査(現地見学会開催:見学者約90人) ・石橋病院移転に伴う発掘調査 ・三王山公園新設に伴う発掘調査 ・三王山公園新設に伴う発掘調査 ・民間開発に伴う発掘調査(試掘・立会い工事:年間70件) ・発掘調査資料の整理・報告作業(甲塚古墳等) ・県わがまち協働推進事業(補助)による干瓢生産道具活用事業、文化財活用事業による施設案内板設置			
検 証	・保護審議会の指導の下、文化財悉皆調査の成果を受け、市指定文化財の指定基準を検討している。公共事業及び民間開発行為に伴う発掘調査をおこない、調査成果として現地説明会を開催。また、これらの調査成果をバーチャルミュージアムとして市HPに掲載。 ・平成16年度に下野国分寺跡に関連して調査をおこなった甲塚古墳出土埴輪などの整理作業をおこなった。全国でも事例の無い「機織りをする埴輪」などが確認された。3~5月の公開時に約7,000人の見学者が来訪(薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館)。			
市内の小学校と連携した出前講座や体験事業をおこなっており、 了した国分寺跡についても県内各地から年間約8,000人の小学生 して見学のため来訪している。国分寺跡・尼寺跡の見学のためのガ でも早急な整備が必要であるが、現在、市には恒久的な文化財展示 や干瓢関連用具等の文化財群と埋蔵文化財出土資料などを保管・ 要となっている。 特に全国的にも類例の無い埴輪や埋蔵文化財出土資料の保存 が急務である。		、学生が郷土 かのガイダン 対展示収蔵が 保管・展示・	の歴史教育の一環と ス施設の整備につい 返設が無いため、民具 公開施設の整備も必	

	総合評価	点検・評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	機織り埴輪を初めとする発掘調査の具体的な結果が出ていることを高く評価します。
В	成果が上がって概ね良好に行われている	
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

i		1	
施策	豊かに暮らす文化の振興 文化遺産の保存と活用	所属名	文化課
事 業 名	下野薬師寺歴史館管理運営事業	事業費	10, 130千円
開始年度	平成 18 年度 根拠法令等 下野市立史跡公	園等展示施設条	例
実施方法	■直接 □委託 □補助 □負担金 □その他〔		Ĵ
目的	貴重な国民的財産である文化財を公共のために大切に保存するとともに、史跡公園等展示施設として公開し、市民の学術文化の向上に寄与するための施設である。 史跡下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場を親しみのある史跡公園として一般公開するとともに、 下野薬師寺跡のガイダンス施設である歴史館の管理運営の充実に努め文化財に対する普及啓発と情報発信を促進する。		
具体施策	・ミニイベント「和本作り講座」(10名) ・ベニバナ摘み体験・ベニバナ染め体験(31名) ・夏休み企画「下野の昔ばなし〜紙芝居と語りべの会」、「古代アクセサリー作り」(約100名) ・ミニイベント「薬師寺オリジナルてぬぐい活用講座」(20名) ・下野市文化財絵画展(約120名) ・エゴマ灯明の会(約220名) ・歴史講演会・見学会「謎解き!しもつけ古墳群」(講演会70名/見学会32名) ・ミニイベント「まが玉しおりを作ろう!」(10名) ・歴史講演会「下野薬師寺と戒壇」(約110名) ・史跡まつり・甲塚古墳出土埴輪展示等(1,200名) ・オリジナルグッズの製作・販売(約3200点販売)		
検 証	・夏休みの宿題として市内の小学生に「文化財」をテーマに絵を描いてもらい絵画展を開催。 ・史跡に隣接する薬師寺小学校との連携事業として史跡の見学や古代米の収穫、餅つき体験を実施。エゴマの収穫などをおこない、その油を利用して秋に「灯明の会」を開催(約220人参加)・例年3月梅の開花にあわせて史跡まつりを開催している。観光関連事業としてJR東日本と連携し「駅からハイキング」も同日開催(約1,200人参加)。また、道の駅を会場として薬師寺に関する講演会を開催。約110人参加。		
今後の課題 及び 今後の対応	しているが、参加者の高齢化が目立っている。		

	総合評価	点検・評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	イベントの中味や PR 活動が充実していることを高く評価します。毎年、イベント内容も変えるなど工夫がなされ、入館者数
В	成果が上がって概ね良好に行われている	り。毎年、イベンド内谷も変えるなどエスがなどれ、八郎日数 も増えています。 ボランティアの積極的な関わりにより、歴史ある町としての市
С	成果が十分に上がっておらず改善が必要	の PR に結びついています。

9. 外部評価委員会委員

氏 名	所 属 等
上原秀一	学識経験者(宇都宮大学教育学部准教授)
五月女 洪	学識経験者(社会教育委員長)
佐 藤 麻 矢 子	学識経験者(野ばら幼稚園園長)
佐 藤 茂 男	学識経験者(元小山市立中小学校長)
松本有幸	公募委員 (元JICA理事)

10. 外部評価委員会による総合意見

この点検・評価は、下野市総合計画に位置づけられた主要施策のうち、教育委員会所管事業の内部評価を経た10項目(平成25年度事業)について行ったものであります。

外部評価委員会は、対象となった10項目に対する総合評価として、4項目を「十分成果が上がって良好に行われている」と評価しました。また、6項目を「成果が上がって概ね良好に行われている」と評価しました。「成果が十分に上がっておらず改善が必要」と評価した項目は、ありませんでした。

外部評価委員会は、各事業の「点検・評価シート」において、「点検・評価に関するコメント」として、各事業について特に高く評価する点や今後一層の改善が期待される点などを示しましたが、全体的には概ね良好な実施状況と評価しました。

施策 1「次代を担う人材の育成」

下野市における教育行政を統括し一体的に推進する上で極めて重要な役割を担う教育委員会議は、教育委員の積極的な審議及び討議によって良好に運営されています。外部評価委員は、教育委員会議が定例会に加えて臨時会を多く開催している点、また、教育委員が積極的に各種の行事に参加している点を評価します。今後、さらにいっそう市民に開かれた教育委員会となるよう、行政のメディアを活用した情報発信に努められることを期待します。

学校適正配置推進事業については、小・中学校における学習環境をより良いものとするため、いろいろな立場の人から丁寧に意見を聞き、具体的で実効性の高い計画を策定されたことを評価します。教育研究振興事業については、国や県の学力調査に加えて独自の調査を行い、各調査の結果を詳細に分析することで学力向上を図

られていることを評価します。学力向上に向けた取り組みが各学校の特色を活かしてさらに発展するよう期待します。下野子ども力発動プロジェクト事業については、事業開始初年度にもかかわらず、すでに小中連携の活性化に資する成果が見られる点を、特に高く評価します。具体的には、中学校の生徒会役員が、小学生に「自問清掃」の方法を教えたり、教育のつどいで啓発活動を行ったりしました。こうした成果が今後いっそう発展するよう期待します。

施策 2「生涯にわたる学びの機会の充実」

市民誰もが生涯学習活動を通した心豊かな生活を送れるよう、様々な意欲的な取り組みを推進されていることを評価します。

生涯学習推進事業については、ボランティアバンクや自治医大連携講座などの取り組みが活発に行われています。特に、ボランティアバンクの登録者数が全体として増加傾向にあることを評価します。今後は、ボランティアが学校支援などにおいて活躍できるようにいっそうの工夫をされることを期待します。公民館管理運営事業については、全ての世代を対象とした社会教育の充実に向け、託児付き講座などの工夫をされていることを評価します。今後、各公民館の創意工夫によってサークル活動が発展していくことを期待します。

また、全ての世代の市民の健康増進・体力向上に向け、スポーツの振興が重要です。保健体育総務事務事業については、幼児向けの事業が充実してきている点、また、少年スポーツ指導員に対する市独自の講習を実施している点を評価します。スポーツ活動拠点施設整備計画事業は、東京オリンピック・パラリンピックと第77回国民体育大会の開催が予定され、市民のスポーツに対する関心が高まる中、大松山運動公園周辺にスポーツ活動拠点を整備しようとするものです。このスポーツ活動拠点が、「水と緑のふれあいスポーツパーク」という理念の下、幅広い年齢層が利用できる施設として計画されている点を特に高く評価します。

施策 3「豊かに暮らす文化の振興」

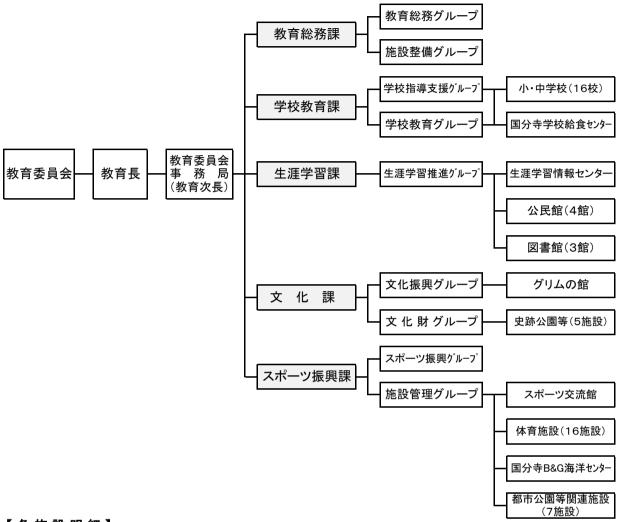
「豊かに暮らす文化の振興」施策に属する2事業は、いずれも「十分成果が上がって良好に行われている」と特に高く評価します。文化財保護事業については、機織り埴輪をはじめとする発掘調査の具体的な結果が出ている点を特に高く評価します。下野薬師寺歴史館管理運営事業については、同館におけるイベントの内容の充実度やPR活動の積極性を特に高く評価します。

下野市教育委員会は、活動の活性化に向けて積極的な取り組みを続けていると言えます。今後のいっそうの発展に向け、平成20年度点検評価以来7回の点検評価の実施状況を踏まえて、対象事業の選定や点検評価の手法について吟味し、必要に応じて見直しを行うことが適切かと考えます。

関係資料

- 1. 下野市教育委員会事務局組織図
- 2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例

下野市教育委員会事務局組織図



【各施設明細】

◆小·中学校

- 1 薬師寺小学校
- 2 吉田東小学校
- 3 吉田西小学校
- 4 祇園小学校
- 5 緑小学校
- 6 石橋小学校
- 7 古山小学校
- 8 細谷小学校
- 9 石橋北小学校
- 10 国分寺小学校
- 11 国分寺西小学校 12 国分寺東小学校
- 13 南河内中学校
- 14 南河内第二中学校
- 15 石橋中学校
- 16 国分寺中学校

◆公民館

- 1 南河内公民館
- 2 南河内東公民館
- 3 石橋公民館
- 4 国分寺公民館

◆図書館

- 1 南河内図書館
- 2 石橋図書館
- 3 国分寺図書館

◆史跡公園等

- 1 下野国分尼寺跡公園
- 2 下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場 13 石橋弓道場 (下野薬師寺歴史館)
- 3 小金井一里塚
- 4 下野国分寺跡
- 5 テーマ館

◆体育施設

- 1 南河内球場
- 2 五千石球場
- 3 西坪山球場
- 4 南河内テニスコート
- 5 南河内ゲートボール場
- 6 南河内東部運動広場
- 7 南河内体育センター
- 8 南河内東体育館
- 9 南河内武道館 10 南河内弓道場
- 11 石橋体育センター
- 12 石橋武道館
- 14 国分寺聖武館
- 15 国分寺武道館
- 16 国分寺静思館

◆都市公園等関連施設

- 1 別処山公園
- 2 祇園原公園
- 3 諏訪山公園
- 4 大松山運動公園
- 5 国分寺運動公園
- 6 柴公園
- 7 みのわ古城公園

平成25年3月22日 条例第11号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律 第162号。以下「法」という。)第27条の規定に基づき、下野市教育委員会 (以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況につ いて、点検及び評価(以下「点検評価」という。)を実施することにより、効果 的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、その実 施に関する必要な事項を定めるものとする。

(点検評価の対象)

第2条 点検評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務事業全般とし、下野市 教育計画に掲げた施策事業のうち、教育行政の推進上での主要事業、その他点検 評価を行うことが必要と認める事業とする。

(点検評価の実施)

第3条 点検評価は、毎年度1回、対象事業の取組状況、実施による成果及び課題等を分析検討の上、今後の取組の方向性を明らかにするものとする。

(外部評価委員会の設置)

第4条 教育委員会は、前条の点検評価の実施に関し、その客観性の確保を図るとともに、法第27条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会点検評価外部評価委員会(以下「外部評価委員会」という。)を設置する。

(外部評価委員会の所掌事務)

- 第5条 外部評価委員会は、教育委員会の実施した点検評価について、意見を述べるものとする。
- 2 外部評価委員会は、前項の意見について、取りまとめた結果を教育委員会に報告するものとする。

(外部評価委員会の組織)

第6条 外部評価委員会は、5人以内の委員で組織し、次に掲げる者のうちから、

教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 教育委員会が必要と認めた者
- 2 外部評価委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 外部評価委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 5 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指定 する委員がその職務を行う。

(報告及び公表)

第7条 教育委員会は、点検評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に報告するとともに、市民へ公表するものとする。

(庶務)

第8条 点検評価の実施に関する庶務は、教育委員会事務局において処理する。 (補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、点検評価の実施に関して必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

平成26年度(平成25年度事業) 栃木県下野市教育委員会点検・評価報告書 お問い合わせ先

発行者 栃木県下野市教育委員会

編 集 教育総務課

〒329-0594 栃木県下野市石橋552-4

電話:(0285)52-1117/FAX:(0285)52-2624

E-m a i 1 : kyouikusoumu@city.shimotsuke.lg.jp

ホームページ: http://www.city.shimotsuke.lg.jp